

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス町田駅前教室 (放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日 ~ 2025年 12月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年 11月 25日 ~ 2025年 12月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	その日の利用者の特性等に合わせて、トレーニング内容を検討実施。週に複数回の利用者がいる場合は、同じトレーニングにならないようにしている。	トレーニング実施前に、職員間で綿密に共有して、内容の改善、疑問点を解消したうえでトレーニングに入っている。トレーニング前に、その日の利用者によって起こりそうな出来事を想定して、対応を事前に考えておき、トレーニングに入るようになっている。	トレーニング内容、質のさらなる向上のために、その日の指導員同士でトレーニング内容、対応についてのフィードバックをする機会を増やす。トレーニング内容をさらに充実させる。
2	利用者の課題、特性、日々の様子等を全職員が理解するようしている。	夕礼で、その日の出来事や利用者の情報共有を詳しく行っている。何か課題があった際には、その日のうちに全職員で対応を話し合っている。毎日、退所時に個別に指導員と利用者がその日の振り返りをし、そこでの情報も共有している。	保護者との共有の機会を増やす。家庭や学校での利用者の情報を共有をし、さらに利用者への理解を深めてより良い支援につなげる。
3	児童発達支援の指導員と放課後デイサービスの指導員が兼務であったり、通いなれた施設であることから、児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行がスムーズである。また、利用者が未就学児の頃から、ほぼ全員の指導員が個別療育を担当しているため、利用者についての理解が深い。そのため、利用者に最善の対応や体制をとることができる。	児童発達支援から放課後等デイサービスにあがる利用者について、トレーニングに入った時にどのような状況となるかをあらかじめ指導員同士で話し合っておいたり、どのようなトレーニング内容が望ましいかを考慮したりしている。	保護者との関係性が確立されているため、その関係性を活かし、家庭や学校の様子を聞きとる機会を増やすことを意識し、より有意義な支援に繋げる。

	事業所の弱み（※）だと思われる ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場、保護者向きの研修、地域との交流が少ない。	トレーニングの内容の充実、質の向上に重点を置いていることより、保護者会や保護者の研修等の企画、実現ができていない。	保護者の研修、イベント等を企画することを検討する。地域交流については、外出イベントで地域のイベントに参加することを検討する。
2	施設、設備の老朽化。トレーニング室の十分な広さが確保されていない。	設備の老朽化については、対応の優先順位が高くない。トレーニング室は、多機能の施設のため、児童発達支援の利用者と共にしている部分がある。	限られたスペースの中ではあるが、活動内容に合わせて設備の配置等を変えて工夫していく。老朽化している設備については今後対応を検討していく。
3	事故等の発生の際の速やかな連絡や事故が発生した際の状況についての説明について、認識がない保護者がいらっしゃる。	緊急時がほぼないことや、連絡体制について周知していないかった。	ブログやラインを利用して、周知していく。